

# 四谷の

# 千枚田だより



第 151 号

会長、鈴木浜松市議会議長、木下飯田市議会議長、山下田原市

## 第二十三回三遠南信サミット

二月十五日、三遠南信サミット。東三河が穂の国豊橋芸術劇場、ホテルアソシア豊橋、ホテルアークリッシュ豊橋において県境連携の蓄積を活かした三遠南信地域の創生とともに生きる未来を目指して、をテーマに関係市町村の首長、行政、住民六百人超の参加をもって開催された。

このサミットに小山舜二(鞍掛山麓千枚田保存会)は新東名開通に伴い「道」分科会の住民代表の発言者として出席した。

午前中の三遠南信サミット住民セッションにおいて「道」、「技」、「風土」、「山・住」の四分科会における発言趣旨を参加者全員で議論し、その内容を分科会で発言した。「道」分科会

佐原豊橋市市長をコーディネーターとして穂積新城市市長、古閑豊橋市議会議長、山脇豊川市市長、大村天竜商工会会長、佐原湖西市商工会会長、小山鞍掛山麓千枚田保存会

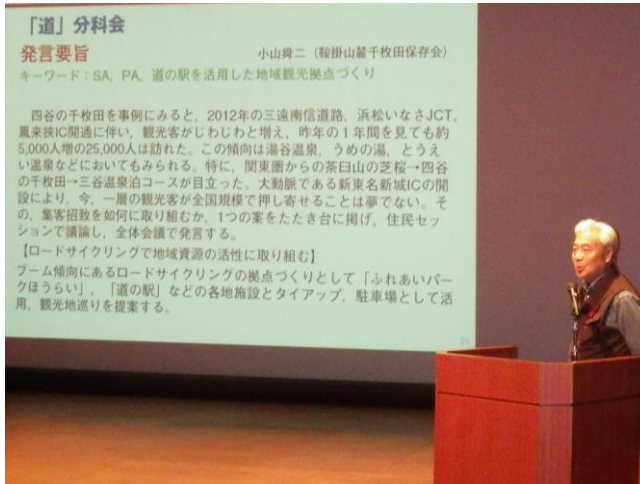
市長、杉本駒ヶ根市市長、伊藤下条村市長、山浦駒ヶ根商工会会頭、山内地域づくりサポートネット代表理事の十三名が新東名開通(浜松いなさJCT)と豊田東JCT)を契機とした各地域の課題(SA,PA)道の駅を活用した地域観光拠点づくり及び圏域内外に及ぶ広域幹線道路ネットワークの形成を展望し、今後、連携して取り組むべき重要課題についてそれぞれの立場から発言があった。

穂積新城市市長は念願の新東名開通はこの地方にとって世紀来のできごとである。特に有海工業団地の拡充に物流、雇用促進等大きな変化が望める。また、名古屋までの高速バスの導入で学生や会社員が通勤圏内に入る。等々明るい兆しの発言があった。

### (舜)の発言概要

新城IC開設に伴い四谷の千枚田を事例にみると、2012三遠南信道路、浜松いなさJCT、鳳来挾IC開通において観光客がじわじわと増え、昨年の一年間を見ても約五千人

増の二万五千人は訪れた。この傾向は湯谷温泉、うめの湯、東栄温泉など奥三河各地においてもみられる。特に、関東圏からの茶臼山の芝桜↓



### 「道」分科会

#### 発言要旨

小山舜二 (鞍掛山麓千枚田保存会)

キーワード: SA, PA, 道の駅を活用した地域観光拠点づくり

四谷の千枚田を事例にみると、2012年の三遠南信道路、浜松いなさJCT、鳳来挾IC開通に伴い、観光客がじわじわと増え、昨年の一年間を見ても約5,000人増の25,000人は訪れた。この傾向は湯谷温泉、うめの湯、とうえい温泉などにおいてもみられる。特に、関東圏からの茶臼山の芝桜→四谷の千枚田→三谷温泉沿コースが目立った。大動脈である新東名ICの開設により、今、一層の観光客が全国規模で押し寄せることは夢でない。その、集客招致を如何に取り組むか、1つの案をたたき台に掲げ、住民セッションで議論し、全体会議で発言する。

【ロードサイクリングで地域資源の活用に取り組む】  
ブーム傾向にあるロードサイクリングの拠点づくりとして「ふれあいパークほうらい」、「道の駅」などの各地施設とタイアップ、駐車場として活用、観光地巡りを提案する。

四谷の千枚田のコースが目立った。大動脈である新東名新城ICの開通により、今、一層の観光客が全国規模で押し寄せることは夢でない。その、集客招致を如何に取り組むか、住民セッションで議論した内容①ロードサイクリングで地域資源の活性に取り組む一環として、ブーム傾向にあるロードサイクリングの拠点づくり「ふれあいパークほうら

い」、「道の駅」、「布里サイクリングターミナルの再活用」などの各地施設とタイアップ、駐車場・駐輪場として活用、三遠南信観光地巡りなどを全体会議で発言した。

この発言に多くのパネリストから闊達な意見、助言が得られた。特に、飯田線の自転車持ち込みについて前向きな意見が出された。

参考 浜松いなさJCT、鳳来挾IC

供用開始(2012.3.4)当初の計画では建設予定外であったが、計画見直しにより地域振興ICとして追加された。

### 新東名高速道路開通に伴う

#### 波及効果

二月十三日に開通した新東名の波及効果が二週間後の二月末には奥三河周辺ですでに始まっている。

四谷の千枚田でみると、まず、車のナンバーが浜松か小牧ナンバーが圧倒的に多かったものが、関西、関東圏、東北、西日本など、とんでもない遠距離から訪れている。

「何んだん、鳥取から来ただかん、どうやって此処を知っただん・・・」の問いに『「四谷の千枚田だより」をいつも読まして頂いている。一度、訪ねて見たいと思いい、来ました。素晴らしいですね。』との返事。

こりゃあ、【たより】もやすやすやめるわけにやあいかなわい。

## 連谷老人クラブ研修旅行

二月十六日、連谷老人クラブ二十名は恒例の日帰り研修旅行を幡豆温泉で行った。

この、クラブの旅行は表向きも、裏向きも研修が目的であり、丸山惇志会長から(舜)に講師を依頼された。さて、話題、題材は山積している。

何はともあれ、  
棚田サミット開催  
十周年記念シンポジウム参加や閉校記念誌編纂に年輪を重ねた(年寄り)知恵を頂いたことに感謝。そして、昨日開催された「三遠南信サミット」を話題とした。  
(前面参照)

サミットで感じたことは南信州や天竜区の人たちが飯田線を愛していることにびっくり。また、新城・豊橋など三河を重要視していることに驚かされた。やはり、



諏訪湖を源流とした天竜川、東栄(千五百万年前の地殻変動で封鎖、現在の天竜川となった)からのV字谷溪谷・中央構造線に沿った文化が脈々と継承されている事からも判るし、この地においても嫁ぎ、嫁がれていることでも室町時代以前からの交流、DNAで繋がっている三遠南信地域である。等々を話した。

### 活動支援物資

愛知県新城設楽農林水産事務所建設課は「ふるさと水と土指導員」の地域における活動支援を行っている。今回、その一環として鞍掛山麓千枚田保存会のネーム入り帽子を支援物資としていただきました。揃いの帽子をかぶって棚田の保全活動に活かしていきたいと思いません。有難うございました。



## 成果報告会

三月五日、玖老勢コミュニティラザにおいて平成二十七年年度 鳳来北西部地域自治区 地域活動交付金事業成果報告会が行われた。事業成果報告(申請団体・事業名)

- ① 与良木組・与良木地区環境整備事業(四六・九万円)
- ② 鳳来寺小学校校区家庭教育推進協議会・「あそびにこんかん」活性化事業(十・七万円)
- ③ 門谷総合開発委員会・鳳来寺山表参道活性化事業(二九・九万円)
- ④ 明るい農村づくり委員会・基幹道路整備を通した山里のコミュニティ活性化事業(五十万円)
- ⑤ 玖老勢 門谷 副川花いっぱい運動・同推進事業(四一・九万円)
- ⑥ 玖老勢区・同区民広場の利用活性化のための保全事業(五八万円)
- ⑦ 郷土地名研究会・海老、連谷地名調査 保存事業(三一・七万円)
- ⑧ 愛里の郷委員会・同環境整備事業(十三・三万円)
- ⑨ 鞍掛山麓千枚田保存会・「四谷の千枚田」を世間に知らしめ、地域を活性化する事業 Ver.3(十九・八万円)

各地区の交付金活用事業の報告からみると、「環境整備、地域活性化保全・改善事業」が目立った。特に、沿道沿いの花木の植栽による「むらおこし」は継続は力なりと評価したい。

保存会は二十八年度地域活動交付金申請において、決して高望は致しません。地域の宝、市、県の顔として知名度が否応なしにアップ。これを維持管理していくためには資金が必要不可欠であることから、ほぼ、本年同様の交付金申請を致します。ただ、いやでも高齢化している会員のボランティア活動における事故対策として、やや多めの傷害保険加入について切にお願いします。と審査会で説いた。

### 今後の予定

- ・三月十八日(金)、連谷小学校卒業式(卒業生一名)
- ・三月二十六日(土)、連谷小学校お別れ会
- ・四月五日(火)、横浜ゴム新城工場新入・幹部社員研修

行 平成二十八年三月二十日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
文責 小山舜二